

きらめき活動 2021

県民活動助成事業報告書



観光客と一緒に 海岸清掃



山代神楽を後世に伝承



狂言の動きを体験



みんなでスポーツレクリエーション

公益財団法人

山口きらめき財団

YAMAGUCHI KIRAMEKI FOUNDATION



はじめに

山口きらめき財団では、多くの皆様からいただいた寄付金等を活用し、団体の自立や地域課題の解決に取り組む県民活動団体に対する助成事業（助成金の交付）を実施しています。

この助成事業により、県下各地域の幅広い分野で世代を超えた多くの方々による熱意あふれる活発な活動が展開され、地域の活性化や地域の絆づくりに大きく貢献しています。

この冊子は、令和3年度に当財団が助成した52団体の活動をまとめたものです。活動団体をはじめ、県民の皆様には是非ご覧いただき、今後の活動の参考として広くご活用いただければ幸いです。

令和5年（2023年）5月

「きらめき活動2021」について

- ・団体の代表者名、構成員数、問い合わせ先は、令和5年3月現在のものです
- ・「活動現場レポート」は、当財団職員が訪問した活動の現場の状況を掲載しています

目 次

◆自立支援ゆめプログラム

一般社団法人 S ぷらす	・・・	1
NPO 法人リアシエル	・・・	2
きょういく TOKORO	・・・	3
埴生てる	・・・	4
ABU 地域盛り上げ隊	・・・	5
関門エンターテイメント下関 実行委員会	・・・	6
チーム米吉	・・・	7
OHaGi	・・・	8
やない独歩クラブ	・・・	9
NPO 法人ほっぺこどもの森	・・・	10
田舎のほっとルーム Link Smile 米光	・・・	11
茶トの会	・・・	12
やまぐち婚活カレッジ	・・・	13

◆課題解決支援はなプログラム

愛憐花	・・・	14
NPO 法人シンフォニーネット	・・・	15
公益社団法人 認知症の人と家族の会山口県支部	・・・	16
山口の朗読屋さん	・・・	17
朗読 Jun な心の会	・・・	18
岩国夢見プロジェクト	・・・	19
赤間関街道中道筋連絡協議会	・・・	20
NPO 法人降松平和の里 ハイキングの会	・・・	21
一般社団法人岩国青年会議所	・・・	22
まちの住民館「あかり」	・・・	23
宇津賀地区まちづくり協議会	・・・	24
琴石グリーン村	・・・	25

せとうちブループロジェクト 実行委員会	・・・	26
頑童の会	・・・	27
縄地ヶ鼻公園振興会	・・・	28
花の咲く夕日の里づくりの会	・・・	29
あぶのべっぴん市	・・・	30
山口どこでも紙芝居連絡協議会	・・・	31
北高夢ロード実行委員会	・・・	32
山代神楽連絡協議会	・・・	33
NPO 法人ダンデライオン	・・・	34
小串ヤマグチサンショウウオ 保護・保存会	・・・	35
宇部自然保護協会	・・・	36
ひかりエコメイト	・・・	37
NPO 法人 山口バイオマス利用研究会	・・・	38
屋代島さとうみネットワーク	・・・	39
下松市防災士会	・・・	40
オリーブ・シード	・・・	41
やない平和を語る会	・・・	42
NPO 法人 山口女性サポートネットワーク	・・・	43
NPO 法人あっと	・・・	44
NPO 法人 やまぐち男女共同参画会議	・・・	45
Kananowa	・・・	46
角倉校区ふれあいステーション	・・・	47
NPO 法人うべ★子ども 21	・・・	48
NPO 法人森と海の学校	・・・	49
NPO 法人とりで	・・・	50
有帆竹灯会	・・・	51
NPO 法人 e コムひかり	・・・	52

団体名 一般社団法人Sぶらす (宇部市)

代表者名	伊藤 雅浩	団体の目的
構成員数	10人	・活動に参加された方が輝く (shining) 笑顔 (smile) でスタート (start) できるよう、様々な体験や人とのふれあいにより、自己効力感や自己肯定感を高める支援を実施する
設立	R3年3月	
問い合わせ先	TEL 090-7505-5063	

事業名 Sぶらす

- 事業の目的**
- 当会の活動を多くの方に啓発する
 - 笑顔のれすとらん (子ども食堂) を開設し、居場所づくりをめざす

- 事業の内容**
- 活動啓発ツール (チラシ) の作成
 - 自分らしさを発見する「活動体験会」の開催 (年間を通じて約 60 回開催 / 参加者延べ 600 人) ~ 少林寺拳法・そば打ち・農作業 (畑や養蜂)・野外活動 (キャンプ、山登りと天文観察)・就労 (清掃作業や加工生産など) 等
 - 小さい子ども達も参加できる「遊び」を中心としたイベント「プレイルーム佐山」の開催 (2・3月)
 - 子ども食堂「笑顔のれすとらん」の開催 (毎月開催)

- 事業の成果**
- 参加者一人一人の年齢や個性、特徴や特技に合わせて体験会やイベントを開催できたので、満足度の高い内容を提供できた。参加者の内面的な成果の評価は難しいが、自己肯定感を向上させることにつながったのではないかと思います。今後も地道に継続していきたい。
 - 発達障がいのある大人の方にスタッフとして働いてもらうことにより、本人の自信につながり、自己有用感を感じてもらうことができた。
 - 現在は子ども中心で開催をしているが、今後地域に根付くため、様々な年齢や状況の方も受け入れることができるようになりたい。

活動の写真


子ども食堂、野外活動体験の様子



団体名 NPO法人リアシエル (宇部市)

代表者名	大屋 温子	団体の目的
構成員数	14人	重症心身障がい児・者やその保護者に対して、日常生活や社会生活を円滑に営め、健やかな成長や発達を促せるような支援を実施する
設立	R2年7月	
問い合わせ先	liaciel0715@gmail.com	

事業名 地域交流啓発活動事業

事業の目的 ○当会の活動を多くの方に啓発し、活動への理解を得るため、スポーツレクリエーションイベントを開催し、地域住民と障がい児・者やその家族の交流の場をつくる

事業の内容 ○広報ツール（ポスター、リーフレット）の作成と配布、設置。ポスターは公共施設やスーパー、病院等市内77か所に貼付
○地域交流スポーツレクリエーションの開催（11月6日（土）／ヒストリア宇部／参加者53人）～ボッチャ等のほか、一般参加者も楽しみ、重症心身障がい児でもプレイできるオリジナル競技を実施

事業の成果 ○作成した広報ツールにより、当会の趣旨や取り組んでいる活動を丁寧に説明することができ、地域の施設や店舗から理解を得られた
○重い障害があっても、サポートがあれば競技に参加できる。プレイする中で、ボランティアや地域の方々と自然に声掛けやスキンシップが生まれ、喜びや楽しさを共有できたように思う
○これからも会の趣旨に賛同してくれる支援者を増やし、差別や偏見のない地域共生社会を目指して啓発活動を継続していきたい

活動現場レポート 地域交流スポーツレクリエーション（11月6日／ヒストリア宇部）

- ◆ この日は、ボランティアとして、宇部フロンティア大学やYIC等の学生23人がルールやサポートの仕方などのレクチャーを受けて参加されていました。
- ◆ 競技はボッチャ、風船バレー、ボールキャッチリレー、障害物リレーの4種目。全員で9グループを作り、赤組と青組に分かれて対抗戦が行われました。
- ◆ 競技の待ち時間や休憩時には、参加者同士が笑顔で話したり、寒くないように体をさすってあげたりする姿も見られました。子ども達は楽しみながら一生懸命プレイされており、競技終了後も参加者同士で写真を撮り合うなど温かな交流が進んでいたようです。



笑顔で競技を楽しむ参加者

団体名 きょういくTOKORO (柳井市)

代表者名	野村 雅子	団体の目的
構成員数	10人	地域住民が地域の交流を通して多方面につながり、生きがいをもって楽しく、安全安心に地域で生活しているよう支援する
設立	R2年3月	
問い合わせ先	TEL 090-8995-5309 (事務局)	

事業名 地域賑わい事業

事業の目的

- 当会の活動を多くの方に啓発する
- 地域住民同士のコミュニケーションの場として立ち上げた「地域交流イベント」の2年目として活動を軌道にのせる

事業の内容

- 地域交流イベント「井戸端お茶飲み会」を地元公民館で2か月に1回定期的
に実施。(全6回開催/延べ110人が参加)
- また、地域住民を講師とした「ばあばの知恵袋きょうしつ」を開催
- 活動を啓発するため、会のPRリーフレットを作成

事業の成果

- 地道に回を重ねるごとに参加者が少しずつ増えていき、当会の活動の理解が広がった
- 一人暮らしの高齢者等が喜んで参加されており、生活の楽しみとなっている。また、会で知り合った住民同士の交流も見られるようになっており、少しずつ地域コミュニケーションの輪が広がってきた

活動現場レポート ばあばの知恵袋きょうしつ (11月13日/柳井市西福祉センター)

- ◆ この日は、半紙や折り紙を使用して内包、鶴の箸置き、鶴のお年玉袋、ポチ袋、きもの形の楊枝入れ・箸置きを作る「折形(おりかた)」教室が行われました。
- ◆ 折る手順は簡単なものから複雑なものまで様々でしたが、途中で折り方が分からなくなる方には講師や他の参加者が教え合いながら完成させました。
- ◆ コロナが落ち着いてきたので久しぶりに集まったの企画でしたが、まだ集まることに二の足を踏む方が多く参加者は少なめ。ただその分、講師が一人ひとりにじっくりと折り方を教えることができたというメリットもあったようです。
- ◆ 次回以降も高齢者と子どもが一緒に出来る暮らしに役立つ楽しい企画を準備していきたいとのことでした。



複雑な折り方も指導を受けながら挑戦

団体名 殖生てる (山陽小野田市)

代表者名	久保田 宏司	団体の目的
構成員数	12人	地元の産業を活性化することにより、雇用・人口の増加を促進し、地域の賑わいの再生・創生をめざす
設立	R元年12月	
問い合わせ先	http://habu-teru.com/	

事業名 地域産品による産業振興に資する活動及びその広報活動の展開

事業の目的

- 当会の活動を多くの方に啓発し、新たな産業振興や地域産品への理解を得る
- 地域産品のPRを積極的に行い、直販の機会を創出する

事業の内容

- 山口銀行殖生支店構内や公園、漁港を利用して地元生産者や地域に縁があるショップが出店するマルシェを定期的で開催（年12回開催）
- 地元産品の認知活動の一つとしてマルシェや通常販売で使用できる商品シール（QRコード付き）を新たに作成
- 会の活動を随時更新できるようwebサイトを充実

事業の成果

- 今まで認知されていなかった地域の産品を多くの方に知っていただけた。認知度が上がることにより、地元の安心安全な食材としての付加価値が生まれ、他商品との差別化やブランド化の展開を図れるものと期待している
- 地元からの期待も大きく、地域との一体感を持った活動をすすめることができた。単年で成果がでるものではなく、継続し定着することで意味が生まれる事業であるため、今後も内容をブラッシュアップしながら安定継続させていきたい

活動の写真



マルシェでにぎわう様子



作成した商品シール

団体名 ABU地域盛り上げ隊 (阿武町)

代表者名	片山 恵子	団体の目的
構成員数	9人	・地域の青少年が地域で活躍できる場をつくり、ふるさと愛をもった青少年の育成を図る ・地域の貴重な人材を有効に活用し地域活性化につなげる
設立	R2年3月	
問い合わせ先	山口きらめき財団へ	

事業名 オリジナルソング&ダンスプロジェクト

事業の目的

- 昨年から手掛けている地域の小中学生によるオリジナルソング・ダンスを完成させ、披露することで地域に元気を呼び込む
- 当会の活動を啓発することで活動への理解者、支援者を募る

事業の内容

- 地元の音楽家に曲の作成を依頼。曲に子ども達が歌詞と振りを付け、「笑顔のスイッチ」というオリジナルソング・ダンスを完成させた
- 阿武町内で開催された行事(まるごと元気フェスタ、森里海の市等4回)でダンスを披露し会場を盛り上げた

事業の成果

- 参加した子ども達は、歌詞やダンスの作成を行う中で「ものを生み出す楽しさ」を経験し、地域振興に貢献することで達成感を得ることができた
- 活動を多くの方に知っていただけたことで、地域の方との交流も生まれ活動への理解や支援を得ることができた。今後も活動を継続し、将来的には文化活動のサークルの立ち上げにつなげていきたい。

活動現場レポート

阿武町まるごと元気フェスタでのダンス披露
(12月19日/阿武町町民センター文化ホール)

- ◆ コロナ禍で様々なイベントが中止となる中、感染が少し収まってきたこの日、阿武町主催で「まるごと元気フェスタ」が開催されました。当会はこの場で夏に完成したオリジナルダンス「笑顔のスイッチ」を初披露されました。
- ◆ メンバーは少し緊張していた様子でしたが、楽しい曲に合わせて、子供らしく澆刺と元気に踊ることができました。
- ◆ 「笑顔のスイッチ」の歌詞には、地域を元気づけるものや、地域の良いところなどが多く盛り込まれています。会場では地域の子どもがこんなに地元を考え、愛してくれているんだと感心された方が多かった様子で、ダンスの後には「良かったよ」「頑張ったね」等の温かい声援が送られていました。機会があれば今後も色々ところで披露したいと前向きで、今後の楽しみです。



会場からは大きな拍手が贈られました

団体名 関門エンターテイメント下関実行委員会 (下関市)

代表者名	牟田 裕	団体の目的
構成員数	5人	関門地域及び下関の歴史文化や地域資源の魅力を音楽や歌、郷土劇などを中心とした「当地エンターテイメント」を通じて発信し、郷土愛を育み未来につなぐ
設立	R2年3月	
問い合わせ先	TEL080-1740-9243	

事業名 郷土の歴史発信・偉人顕彰・地域文化資源等をいかした事業

- 事業の目的**
- 郷土の魅力や地域資源について、エンターテイメントを通じて多くの方に発信・啓発する
 - 団体としての運営基盤を固め郷土史家や音楽家、地域住民との連携を図る

- 事業の内容**
- 「馬関戦争 1864 メモリアルコンサート下関」を開催（5月16日（日）／長州藩下関前田台場跡／参加者 220人）～当地オリジナル曲や歴史に関連する楽曲などを選曲し、ソプラノ歌手による独唱や合唱により披露（youtubeでもハイライト配信）
 - 「偉人顕彰コンサート～下関の偉人藤原義江と関門海峡」を動画で配信（R3年11月からyoutubeで）～藤原義江にスポットを当て、記念館への取材や写真の紹介とともにソプラノ・バリトン歌手による偉人の愛唱歌やオリジナルソングを配信

- 事業の成果**
- 光の当たっていない歴史の戦跡を音楽によって光を当てるという新しい試みを実施することができた。参加した方、動画を視聴した方のみみんなが命の尊さや平和の意味を考える、そして地域遺産の魅力を見直す機会となった
 - コロナ禍であったが、活動趣旨に準じた積極的な活動を工夫しながら行うことができ充実した1年となった。今後も地域の歴史発信コンサートを予定しており、継続的に活動していく予定

活動の写真



馬関戦争 1864 メモリアルコンサートの様子
当時の兵士に扮装した方もおられ会場を盛り上げました

youtube 配信で美しい歌声を届けられました



団体名 チーム米吉 (山口市)

代表者名	大井 秀規	団体の目的
構成員数	3人	山口県を代表する現代彫刻家、田中米吉氏の未発表の作品や氏の生涯にわたる作家活動を広く地域住民、県内外の人々に紹介する
設立	R2年3月	
問い合わせ先	https://yonekichi.doarf.ront.org	

事業名 YONEKICHI TANAKA The Final Work

事業の目的 ○田中米吉氏の作品を広く地域住民、県内外の人々に紹介し、顕彰する
○新たにWebサイトを作成しアーカイブに取り組む

事業の内容 ○山口市仁保の田中米吉氏のアトリエにて、展覧会「YONEKICHI TANAKA The Final Work～田中米吉最後の仕事」を開催（7月3・4日、10・11日／参加者延べ200人）。最終日にはギャラリートークも行い、田中氏の生前の創作秘話やどんな思いで作品を作られたのか、作品の見どころ等を観客とともに意見交換

事業の成果 ○コロナ感染症対策を行いながらの展覧会だったが、地域の方をはじめ、田中氏の教え子の方やファンの方等、県内外から多くの来場があり田中氏の偉大な功績を伝えることができる貴重な機会となった
○次年度以降も、田中氏の作品や表現への姿勢を多くの人に知っていただくため、イベント企画のほかネット上での作品公開を引き続き実施していく予定

活動現場レポート

「田中米吉 最後の仕事」展覧会（7月11日／田中米吉氏アトリエ）

- ◆ 田中米吉氏は令和3年1月に死去され、最後の作品は未発表のままとなっていました。そこで、ニューヨークの個展で展示された3つの作品と最後の未発表の作品の計4作品の展覧会を今回4日間にわたって開催されました。
- ◆ 展示された作品は、一見ただの穴のあいたステンレス製の箱型や円柱型のものに見えますが、中を覗き込むと周りの景色や光が反射して、無限に続くような不思議な空間が展開されます。緻密に計算された田中氏の世界観に触れることができ、来場者は大変満足されていたようです。
- ◆ 最終日にアトリエ内で行われたギャラリートークでは、作品を前に田中氏の思い出や世界観、鑑賞のポイント等が語られました。地元の誇れる作家、その作品を今後も広く啓発していただきたいです。



生前の田中氏の以外な素顔も語られました

団体名 OhaGi (萩市)

代表者名	藤原 昌隆	団体の目的
構成員数	12人	・スポーツを通じた体力向上、健康増進、子どもから大人までの幅広い世代の交流できる場の創出 ・全国の舞台で活躍できる選手の育成
設立	R2年7月	
問い合わせ先	ohagi.running@gmail.com	

事業名 陸上競技・ランニング振興事業

事業の目的 ○コロナ感染症の長期化で多くのスポーツイベントが中止となっている中、陸上競技を中心したスポーツの振興を図る

事業の内容 ○山口県内外から、全国大会、世界大会を経験したトップランナーを招き、一般や中学生を対象にタイムトライアルと交流会を開催(11月7日(日)/山口県セミナーパーク/参加者50人)

事業の成果 ○市民を対象とした陸上競技の記録会とトップランナーとの交流会で、競技力向上の一助となり、イベントが減少するコロナ禍において参加者に楽しみながらスポーツに参加する機会を創出できた
○地域住民に対して、団体の認知及び信頼関係の構築ができ、当会のスタッフもイベントの企画運営など大変勉強になった

活動現場レポート クロスカントリー記録会・交流会 (R3年11月7日/県セミナーパーク)

- ◆ この日は、参加者に萩市内の中学生も加え、世界で活躍する2人のトップランナーを招いたランニング交流イベントが開催されました。
- ◆ 準備運動をした後、セミナーパークのクロスカントリーを使用して、3キロ・2キロのランニングが行われました。本格的な電光掲示板で時間が表示され、当会の会員や今回講師に招いた2人の選手をペースメーカーとして、それぞれベストタイムの更新をめざしてスタート。早い人は9分台の後半でゴールし、遅い人でも11分台でゴールされていました。
- ◆ 計測後は講師から、走り方のフォームやペース配分についてのアドバイスを受け、反省会が行われました。自分のフォームを見直し、早く走るためのコツを学べる良い機会となったようです。
- ◆ 天気にも恵まれ、さわやかな秋風が心地よい絶好のランニング日和。中学生から社会人までランニング好きな方が楽しみながら交流できるイベントとなっていました。



アドバイスを聴きながらフォームを調整

団体名 やない独歩クラブ (柳井市)

代表者名	森本 政彦	団体の目的
構成員数	11人	明治の文豪「国木田独歩」の諸作品を読み合い、談論することを通じて、独歩文学の魅力を探求する
設立	H30年6月	
問い合わせ先	Tel 090-7993-1653	

事業名 生誕150年記念「国木田独歩文学ガイド」の刊行と普及

事業の目的

- 柳井、田布施、平生地域のおよそ30か所に存在する、独歩所縁の地を紹介することで教育・文化・観光の振興を図る
- 独歩文学や当地域の自然・歴史への関心を高める

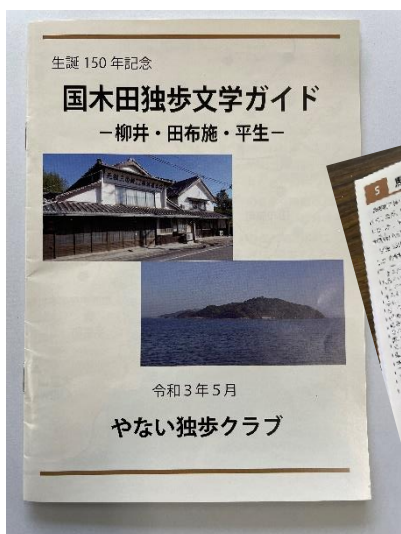
事業の内容

- 生誕150年記念「国木田独歩文学ガイド～柳井・田布施・平生」を刊行（A5判・20頁、5,000部）
- 観光協会や図書館などで一般の方に配布したほか、教育関係者に教材資料として無料提供

事業の成果

- 独歩ゆかりのスポットの存在を再発見、再確認しようという機運が高まった
- ガイドの作成に合わせて、講演会を開催したり、フォトコンテスト、エッセイコンテスト等を行い、受け身ではなく自ら独歩文学と係わることのできる機会を提供できた
- 独歩文学と当地との関りをもっと具体的に啓発していけるよう、引き続き活動に取り組みたい

活動の写真



冊子の刊行とともに、会では独歩生誕150年記念として、独歩作品の朗読や小説家である高橋源一郎氏による講演等のイベントを開催。約300人の参加があり、この冊子も会場で配布されました

団体名 NPO法人ほっぺ子どもの森 (山口市)

代表者名	江藤 美知子	団体の目的
構成員数	10人	子育て中の親と子、地域住民に対して、親自身が「自分らしく」楽しく子育てができるよう子育て支援や子育てしやすい環境づくりを行う
設立	R2年3月	
問い合わせ先	https://www.instagram.com/hoppekodomonomori/	

事業名 子育て支援プログラム～ママ達の居場所づくり

事業の目的 ○子ども達の保護者に対して、子育てにおける孤独感・不安感・ストレスを解消し、子育てについての正しい知識を得て、実践していただく

事業の内容

- 「母と子のためのひろば」の開催（7、9、10、11月）
絵本の読み聞かせ、音楽鑑賞、新聞紙やマットを使った自由遊び等
- 「母と子のワークショップ」の開催（9、8、12月）
音楽リトミック、親子ヨガ、音楽遊び等
- 「母と子のための健康講座」の開催（7、9、11、2月）
助産師や産婦人科や小児科、歯科の医師を招いた講座
- ほっぺ寺子屋@zoom（7、9、11、1月）
オンラインで普段の生活や子育ての悩みなどを共有し交流し合う場を設定
延べ217人参加

事業の成果

- 会場で出会った他の親子やスタッフと交流を通して、普段できないふれあいや歓談を楽しみ、子育ての孤独感や不安感、ストレスを解消できた
- 専門家から子どもの体や健康についての正しい知識を学ぶことで、これからの日常生活の中で活かしていくことができるようになった

活動現場レポート 母と子のための健康講座（9月26日／山口ミュージックアカデミー）

- ◆ この日は市内から20代のママとその子ども（赤ちゃん）等、約10人が参加。テーマは「コロナ禍の妊娠と出産」で、産婦人科医師がデータを示しながら分かりやすく、コロナによる妊産婦への影響を話され、参加者もメモを取りながら熱心に聞き入っていました。
- ◆ お母さん方が日頃不安に思っていることについて、講師はやさしく丁寧に説明され、みなさんの不安もほぐれた様子。最後には講師によるピアノ演奏もあり、楽しく明るく講座が締めくくられました。
- ◆ 今回の様子は後日オンデマンド配信されましたが、ネットを通して活動が全県・全国に広がっている様子でとても頼もしく感じています。



医師からの説明を熱心に聞く参加者

団体名 田舎のほっとルームLink Smile米光 (周南市)

代表者名	宮本 千恵子	団体の目的
構成員数	40人	地域密着で子育て支援を行い、子育てにやさしい地域の創出と交流人口を増やすことで地域活性に寄与する
設立	R2年4月	
問い合わせ先	linksmile.yonemitsu@gmail.com	

事業名 みんなが主役 みんなでつくる子育てにやさしい地域の創出から地域活性へ

- 事業の目的**
- 子育てを取り巻く多様な問題へのアプローチとして当会が始めた活動を地域住民に広くPRする
 - 「いつでも出会える場所」として整備した交流拠点をさらに充実させる

- 事業の内容**
- 会のHPやPR用のパンフレットの作成
 - 子ども達の興味のある分野を深掘する「探求部」活動として「写真」をテーマに講座や体験を実施(8~12月の間に5回/参加者延べ39人)
 - 子ども達への体験活動として、バスボスやペットボトルロケット、レジンアクリルキー作り、DIY等の企画を実施(7~12月の間に9回/延べ65人)

- 事業の成果**
- 当会の活動を発信するためHPやSNSを積極的に活用できた。今後も地域の魅力を広く届け、支援・認知の輪を広げていきたい
 - 「探求部」での活動は、行動制限のあるコロナ禍でも子ども達に、チャレンジすることの喜びを改めて感じ、新しい可能性を拓けることにつながった
 - イベントを通して親同士の交流もでき、地域の行事へ参加したり、地域の魅力を体感してもらうことができた

活動現場レポート 未来のタネプロジェクト「子ども写真部」(9月26日/旧米光保育所)

- ◆ この日は公募で集まったカメラに興味のある小学生と保護者を対象に、写真をテーマにした「部活動」が行われました。
- ◆ 講師は、地元写真家の土谷晃子さん。始めに資料に沿って、構図や逆光の対応などカメラ操作の基礎部分の説明があり、続いて実際にデジカメやスマホを使って、テーブルに置かれたぬいぐるみ等を撮影しました。その後は、保育所内の遊具や草木、隣接するお寺の建物等を思い思い自由に撮影、撮った画像は最後にスクリーンに映し出し、全員に披露しながら、講師から良いところや悪いところの講評を受けました。
- ◆ 子ども達の興味や意欲を引き出す内容となり、終始楽しい笑い声や笑顔にあふれた会でした。



みんなで撮った写真を講評しました

団体名 ^{ちゃと}茶トの会 (宇部市)

代表者名	古屋 美由紀	団体の目的
構成員数	4人	野良猫を地域で飼養管理することにより、地域猫へと移行させ、飼い主のいない猫を減らし、猫と人間が共生できる社会をつくる
設立	R2年2月	
問い合わせ先	https://www.instagram.com/chatonokai/	

事業名 飼い主のいない猫と共生する町づくり

事業の目的 ○飼い主のいない野良猫について考えるきっかけを多くの人に提供する

事業の内容 ○県内での様々なイベント（ときわ公園フリーマーケット等）へのワークショップ（塗り絵や缶バッジ）出展をはじめ、啓発パネルの掲示やチラシ等の配布により、地域猫活動について多くの人に周知する活動を展開
○啓発ポスターやチラシを作成し、行政機関、公共施設、店舗等へ配布して掲示を依頼

事業の成果 ○イベントでの啓発により、親子で野良猫のことを考える機会を提供できた。
○毎月地域で行われているゴミ拾いに会で参加し、活動への理解が少しずつ地域に広がってきている。引き続き継続していく予定

活動現場レポート 地域猫活動の啓発（11月28日／山陽小野田市市民館）

- ◆ この日は、当財団主催の「家族みんなのフェスタ」の会場で、パネル展示やオリジナル缶バッジの作成体験、モザイクアート作成ワークショップを実施されました。
- ◆ モザイクアートは、予め用意された猫の顔が描かれたメモ用紙に、参加者が自由に模様を付けてオリジナルのアートを作成するというもので、これまで参加した人が思い思いに描いた作品を会の方で素敵に展示されておられました。
- ◆ 同じコーナーにはハンドメイドの猫グッズや、規格外商品として企業からもらい受けた首輪やキーホルダーが格安で販売されており、訪れた方は手に取ってじっくりと眺めたり、地域猫の重要性について説明する会員の説明に聞き入ったりしておられました。
- ◆ 会では、今後もこのような形で県内の様々なイベントなどに参加して、より効果的な啓発活動を行っていきたいとのことでした。



モザイクアートに挑戦



保護活動についての様々な情報を展示

団体名 やまぐち婚活カレッジ (周南市)

代表者名	門脇 まゆみ	団体の目的
構成員数	6人	結婚を考えている県内の未婚の男女の出会いと学びを創出するとともに、婚活支援や自分磨き支援等に取り組む団体や市民とのネットワークづくりを推進する
設立	R2年3月	
問い合わせ先	dream_school_shunan@yahoo.co.jp	

事業名 やまぐち婚活カレッジ

事業の目的 ○結婚を考えている独身男女を対象に、婚活の基礎知識や学んでおきたいことをテーマにした動画を配信し支援する

事業の内容 ○婚活カレッジチャンネルの開設 (youtube)
 「婚活の適齢期」「コミュニケーションの取り方」などとともに、地元の名所やパワースポット、おすすめ情報とともに「5分で伝えたい山口らしい婚活情報」を発信 (全6回)
 ○オンライン配信した動画コンテンツを後から閲覧できるようライブラリー化

事業の成果 ○インターネットで気軽に閲覧できる動画での情報提供は、視聴された方からの反応も良く、手ごたえを感じることができた
 ○社会全体で婚活を応援する仕組みや機運作りをめざし、今後も動画作成に取り組み、多くの方に視聴いただけるようにしていきたい

活動の写真



作成された youtube 動画
 全6回分をいつでも視聴することができます

